

北海道八雲町 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和7年12月9日
作成担当部署 農林課

2 第三セクターの概要

法人名 株式会社青年舎
代表者名 代表取締役 吉田 邦夫
所在地 北海道二海郡八雲町上八雲390番地1
設立年月日 令和元年6月27日
資本金 25,000千円【八雲町の出資額（出資割合）12,100千円（48.4%）】
業務内容 生乳の生産販売、乳牛肉の飼育販売、乳牛及び肉牛の預託管理、酪農担い手育成等

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

農業担い手の高齢化や酪農家戸数の減少という地域の課題を背景に、研修機能と生乳生産量拡大を両立するため令和元年6月に町、農協、地域の生産者が出資し、新たに核となる株式会社青年舎を設立。令和6年度は、飼料等の資材価格の高騰による生産コストが高止まりする中、畜産経営への影響を緩和するため、飼料の共同購入や入札等による飼料仕入単価の低減、和牛受精卵の増産による副産物収入の確保、高能力牛群の整備による増頭、増産を推進してきた。また、酪農畜産関係機関による経営分析・診断を受け、財務状況や財務指標の標準的な水準を把握し、経営改善に向けた取組みを実施した結果、1,915,960円の当期純利益となった。

町は、収支に関して毎月報告を受け、日頃から経営状況の把握に努めている。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

国際情勢などの影響により、飼料、肥料及び資材価格の高止まりが続いており、農業経営を圧迫しているが、今後は乳房炎対策の徹底による乳質の向上及び乳生産性の改善を行いながら、飼料生産における畑作経営との耕畜連携など、地域内での連携を進め、生産コストの削減と生乳生産量の増加を図り、期間内での経営の健全化を目指している。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

畜産バイオマス発電による売電収入と固形物を敷料として再生・再利用することにより、敷料費を抜本的に削減し収益効果に取り組む。さらに、市場ニーズに合った和牛素牛生産を拡大させるとともに、乳牛の個体改良の促進により酪農生産基盤の強化及び生乳の安定供給を行う。また、メガファームのスケールメリットを活かした仕入れの効率化等による経費削減及び従業員一人当たりの売上高を増加させることで更なる収益改善を図る。

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	資産総額	2,018,196	1,806,937	1,535,711
	(うち流動資産)	582,778	463,112	277,769
	(うち固定資産)	1,388,320	1,297,831	1,213,937
	(うち繰延資産)	47,098	45,994	44,006
	負債総額	2,157,786	2,005,333	1,732,191
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	0	0	0
	純資産額	▲139,590	▲198,396	▲196,480

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	売上高	561,897	684,480	831,938
	売上原価	622,126	658,892	745,749
	販売費及び一般管理費	138,041	137,423	178,360
	営業利益	▲198,270	▲111,835	▲92,171
	営業外収益	53,673	73,417	89,878
	営業外費用	22,849	22,252	27,906
	当期純利益	▲161,722	▲58,806	1,916